

【履歴書記載上の注意】

※年月日の記載は西暦を使用してください。

①氏名・性別

- ・「氏名」の欄は、戸籍名を記載の上、押印してください。必要に応じて旧姓を記載してください。

②生年月日

- ・「年齢」は“採用年度における4月1日”の満年齢を記載してください。

③現住所・電話番号・携帯電話番号・メールアドレス

④学歴

- ・大学もしくは高等専門学校、またはこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴のすべてについて記載し、その他の者は、最終学歴について記載してください。
- ・博士課程を出て未だ博士号を取得していない者の学歴は、「博士課程単位取得満期退学」と記載してください。
- ・大学の別科、専攻科については、「学歴」欄に記載してください。
- ・学位、称号、その他、教員等の資格についても「学歴」欄に記載してください。この場合、学位については、登録番号も付記してください。論文博士の場合は大学名を付記してください。
- ・外国における資格については正確に記載するとともに、その資格の内容についても併記してください。
- ・外国留学については、学生としての留学の場合は「学歴」欄に、研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記載してください。
- ・中途退学であっても省略せずに記載してください。

⑤職歴

- ・職歴のすべてについて記載し、職名・地位等についても明記してください。なお、過去における大学設置・学校法人審議会(旧大学設置審議会を含む。)の教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、同欄に当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、専任・兼任・兼任、職名及び担当授業科目名(大学院にあつては、判定結果(合)・合・可)を記載してください。
- ・職歴は、常勤専任・常勤非専任・非常勤の別を必ず記載してください。(契約期間の定めがある場合は、非専任としてください。)
- ・各職歴について、在職期間が明確になるように記載してください。なお、現職については必ず「現在に至る」と明記してください。
- ・大学の教員の職歴については、主な担当科目を()で付記してください。
- ・担当科目に直接関係のある職歴については、できるだけ具体的に記載してください。特に、実技科目の候補者で企業等において競技に携わっていた場合は、所属部名・期間等が明確になるように記載してください。
- ・大学の研究生、科目等履修生、聴講生、TA等は「職歴」欄に記載してください。

⑥学会及び社会における活動等

- ・本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記載してください。また、教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記載してください。
- ・所属学会名は正確に記載してください。なお、役職に従事する場合は、役職名、役職在任期間を付記してください。
- ・所属学会の他、協会・団体等、委嘱委員会等について記載してください。

⑦資格・免許状、⑧特許等、⑨賞罰

- ・ない場合、空欄にせず「なし」と記載してください。
- ・資格については、担当予定科目、応募資格に関するものを記載し、証明書(写し可)を添付してください。

履 歴 書

写真(縦4×横3)

年月日は西暦で記載すること

履 歴 書			
フリカ'サ 氏 名 (旧 姓)	ニッタイ タロウ 日 体 太 郎	男・女	生年月日 (年齢)
〒158-8508 フリガナ トウキョウト セタガヤク フカサワ 東京都世田谷区深沢 7-1-1		電 話 番 号 携 帯 電 話 番 号 メー ル ア ド レ ス	19XX年 X月 X日生(満 XX歳) XX-XXXX-XXXX XXX-XXXX-XXXX XXXXX@XXX.ac.jp
学 歴			
入学年月	卒業・修了 年月	事 項	
19XX年 X月	19XX年 X月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業	
19XX年 X月	19XX年 X月	〇〇大学大学院〇〇博士前期課程〇〇学専攻修了	
19XX年 X月	19XX年 X月	〇〇大学大学院〇〇博士後期課程〇〇学専攻修了	
	19XX年 X月	〇〇博士の学位取得(〇〇大学) 登録番号〇〇〇〇号	
以上			
職 歴			
就任年月	退任年月	事 項	常勤専任・常勤非専任・非常勤の別
19XX年 X月	19XX年 X月	〇〇大学助手(※主な担当科目を記載)	常勤専任・ 常勤非専任 ・非常勤
19XX年 X月	19XX年 X月	△△大学専任講師(※主な担当科目を記載)	常勤専任 ・常勤非専任・非常勤
19XX年 X月	19XX年 X月	△△大学助教授(※主な担当科目を記載)	常勤専任 ・常勤非専任・非常勤
19XX年 X月	19XX年 X月	〇〇学科非常勤講師(※主な担当科目を記載)	常勤専任・常勤非専任・ 非常勤
19XX年 X月		△△教授(※主な担当科目を記載) (現在に至る)	常勤専任 ・常勤非専任・非常勤
以上			
学会及び社会における活動等			
年 月	事 項		
19XX年 X月	〇〇〇学会(理事 19XX年 X月～19XX年 X月まで、現在に至る)		
19XX年 X月	△△△学会(19XX年 X月まで)		
19XX年 X月	□□□学会(現在に至る)		
20XX年 X月	◇◇◇学会(現在に至る)		
以上			
資格・免許状			
取得年月日	事 項		
	なし		
特 許 等			
取得年月日	事 項		
	なし		
賞 罰			
年 月	事 項		
	なし		
20XX年 X月 X日			
上記の通り相違ありません。			
氏名 日 体 太 郎 (印)			

【教育研究業績書記載上の注意】

〔教育上の能力に関する事項〕

1 教育方法の実践例

- ・優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容の web 上での公開等

2 作成した教科書、教材

- ・作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要(後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「(再掲)」と表示)

3 当該教員の教育上の能力に関する大学等の評価

- ・各大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実(その事由と評価内容)
- ・採用決定の際等における教育上の能力に関する評価
- ・学生による授業評価、教員同士の相互評価等をまとめたもの
- ・学外の評価機関等が行った評価
- ・上記以外で、学長、学部長、学内諸機関等が行った評価(客観性を持ったものについて記載)等

4 実務家教員についての特記事項

- ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴(看護・福祉実習、企業実習等)
- ・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要
- ・その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を広く記載してください。

5 その他

- ・大学教育改善に関する団体等での活動の概要
- ・教育実績に対する受賞歴等
- ・国家試験問題の作成等

※上記にとらわれず、積極的に記載してください。

〔職務上の実績に関する事項〕

1 資格、免許

資格について、担当する教育の内容に関するものなど、特に審査に関連すると思われるものについて記載してください。

2 特許等

本人の担当する教育内容等に関連した事項について記載してください。

3 実務家教員についての特記事項

実務経験の記載方法については、「職歴」欄に記載した事項を中心に、担当する授業科目に対応した下記の事項等を参考に記載してください。

- ① 従事した期間
- ② 職務の内容(どのような職務について、どのような役割を果たしたか)
- ③ 成果、結果

※スポーツ等実技関係者の場合 職務上の実績:指導者としての経歴・実績・資格等

※福祉その他社会的活動の関係者の場合 参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位

※その他全般を通じて

4 その他

1 から 3 に該当するもの以外の事項について幅広く記載してください。

[担当授業科目等に関する主要な著書、学術論文等]

1 著書、学術論文等の名称

- ・「著書」、「学術論文」及び「その他」の順に適切に区分し、各業績を年月日順に区分毎に番号を付して記載してください。
- ・「学術論文」は、国際学会雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものを記載してください。
学位論文(修士論文、博士論文)も記載し、修士論文または博士論文である旨を明記してください。
また、学術論文については、各題名の後に、「(査読付)」または「(査読なし)」と必ず明記してください。
- ・「その他」には、総説、学会抄録、報告発表、座談会等について記載し、タイトル・テーマ等を記載してください。

2 単著、共著の別

3 発行又は発表の年月

4 発行所、発表雑誌等又は発表学会の名称

5 概要

- ・著書、学術論文等の概要及び頁数について、各著書、学術論文等ごとに 200 字程度で記載してください。
- ・共著の場合は、担当部分及び掲載頁を明記し、また、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順に記載し、本人の氏名にアンダーラインをしてください。なお、共著の場合で本人の担当部分を明確にできないときは、その理由を明記してください。(例:共同研究につき本人担当部分抽出不可能)また、筆頭論文である場合は、その旨明記してください。
- ・一冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著と整理してください。
- ・学位論文については、その旨明確になるように記載してください。
- ・発表学会誌等は、その名称の他、巻・号等まで記載してください。
- ・著書、学術論文等で発行又は学会誌等での発表予定のものについては、出版社や学会からのその旨の証明書を添付してください。なお、書類提出時以降に投稿予定のものは含めないでください。

[その他]

<外部資金の獲得状況>

- ・科学研究費、その他の公的外部資金、各種財団等からの外部資金等について記載してください。

<競技歴・指導実績等>※特に実技系の応募者は必ず記載してください。

自身の競技歴

クラブ等の指導実績

講習会等の指導実績

教育研究業績書

記載見本

XXXX年X月XX日

氏名 日体 太郎 ㊞

教育上の能力に関する事項	年月日	概 要		
1 教育方法の実践例				
2 作成した教科書、教材				
3 当該教員の教育上の能力に関する大学等の評価				
4 実務家教員についての特記事項				
5 その他				
職務上の実績に関する事項	年月日	概 要		
1 資格、免許				
2 特許等				
3 実務家教員についての特記事項				
4 その他				

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1.〇〇〇〇	共	2013.7	△△△。 執筆箇所:「△△△△」p.69、「▽▽▽▽」p.106、 「□□□□」p.147、「◇◇◇◇」p.195、「☆☆☆☆」 p.200～p.201、「◎◎◎◎」p.326～p.354 共著者:日本〇〇〇編 日体太郎、〇〇〇〇他 88 名
2.〇〇〇	共	2015.10	△△書店	「第 II 部 12. □□□□の△△△」を担 当、.....。 執筆箇所:p.172～p.175 共著者:日体太郎(編)、日体一郎、日体次郎
3.新版〇〇〇〇〇〇	共	2016.1	△△書店	「△△△」を担当、..... 日体太郎、日体次郎、日体史郎(編) 執筆箇所:p.102～p.157 共著者:日体次郎、日体太郎、日体史郎
(学術論文) 1.〇〇〇〇の形成に関する□□□考察－ 〇〇〇の△△△△が果たした役割－(査 読あり)	共	2014.6	体育学研究 59(1)	〇〇県〇〇市に伝わる〇〇〇〇に.....を明らかになっている。 執筆箇所:p.331～p.349 共著者:日体太郎、日体次郎
2.〇〇〇〇の□□□□(査読あり)	単	2015.9	〇〇体育 40(3)	本稿は〇〇〇〇の.....につ いて論じたものである。 執筆箇所:p.18～p.21

(その他)

<外部資金の獲得状況>

2011年度 文部科学省 科学研究費補助金「〇〇〇〇の研究」基盤研究C (350万円) 研究代表者

2011年度 〇〇生命厚生事業団研究助成「〇〇〇〇の研究」 (100万円)

<競技歴・指導実績等>

・自身の競技歴

1.1992年 第〇回学生〇〇選手権 〇〇競技 3位

2.1993年 第〇回ユニバーシアード〇〇大会 〇〇競技 出場

3.1995年 世界〇〇選手権大会 〇〇競技 出場

4.1996年 第〇回オリンピック競技大会(1996・〇〇大会)出場

・クラブ等の指導実績

1. 2003.6 第〇回世界選手権大会(△△△) 〇〇競技 □□選手 優勝 ◇◇選手 3位 監督

2. 2003.10 第〇回全日本学生大会 〇〇競技 □□選手 優勝 監督

・講習会等の指導実績

1. 2003.10 NHK テレビ 〇〇〇の解説 国民体育大会(□□市)

2. 2004.11 〇〇県教育委員会 △△△△講習会